都道府県別賞一等

私の将来の夢

高知県　南国市立香南中学校　一学年

吉良　奈津未

私の将来の夢は、ウエディングプランナーになることです。結婚式という、人生の中で大きな節目を迎える人々の心に寄り添い、一生の思い出に残る最高の一日をプロデュースしたいと考えています。私がこの職業に憧れるようになったきっかけは、ＳＮＳなどで新郎新婦の笑顔や、時には涙を流しながらそれを見守るゲストの姿を見たことです。華やかな舞台の裏側で新郎新婦と話し合いを繰り返し、最高の舞台にしようと考え、二人を笑顔にするために全力で働くプランナーさんの姿がとてもかっこよく見えました。私も将来、幸せがあふれる舞台を裏で支える仕事がしたいと強く思うようになりました。

しかし、ウエディングプランナーになるためには中学校を卒業し、高校も卒業した後に専門学校や大学に進学して、勉強をする必要があります。それには、たくさんの学費がかかりますし、毎日の生活を支えてくれている家族の協力が欠かせません。『もしも、これから自分自身や家族の誰かが大きな病気になってしまったり働けなくなったりしたら、私たちのこれまでの暮らしはどうなってしまうのだろう。私の進学や夢の実現は難しくなってしまうのかもしれない。』という不安が頭をよぎるようになりました。

そんなとき、この作文をきっかけに「生命保険」について調べることにしました。調べるまでは、生命保険という言葉は知っていても、自分の暮らしにどのように関わっているのかはあまり知りませんでした。しかし、調べてみると生命保険とは、多くの人が少しずつお金を出し合い、誰かが病気やケガで困ったときに助け合う「相互扶助」という仕組みだと知りました。そして我が家でも生命保険に入っていることを教えてもらいました。我が家が生命保険に入ってくれているおかげで、万が一のことがあっても私たちの学費や生活費としてまとまったお金が支払われるそうです。私が今、不自由なく夢を追いかけられているのは、家族の深い愛情とそれを裏で支えてくれている生命保険の仕組みがあるからなのだと気づき、感謝の気持ちが湧いてきて、調べてよかったと思いました。

今回、生命保険について学んだことで、私の夢であるウエディングプランナーとの意外な共通点を見つけることができました。ウエディングプランナーは結婚式という人生の特別な幸せを裏から支える仕事です。一方で、生命保険は毎日の生活という目に見えない幸せや安心な生活を裏からしっかりと支えて

います。形は少し違っても、どちらも誰かの人生や未来に寄り添い支える仕事なのだと感じました。私が今、家族や社会の仕組みに守られている安心感を、将来は私がウエディングプランナーとして新郎新婦やその家族に届けられるようになりたいです。まずは毎日の勉強や学校生活を一生懸命頑張ります。そして将来は新郎新婦が安心して新しい人生の第一歩を踏み出せるような、誰からも信頼される立派なウエディングプランナーになりたいです。